

東京都中小企業知的財産シンポジウム開催記念スペシャル座談会

山下 テーマにある「合理的な見地」を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。

山下 ビジネスの理を考へる際、経済安全保障も大事な視点です。

ピヴェット 理にすぎなく、経済安全保障などが、経済安全に与える影響をどう描くかが問われていますね。

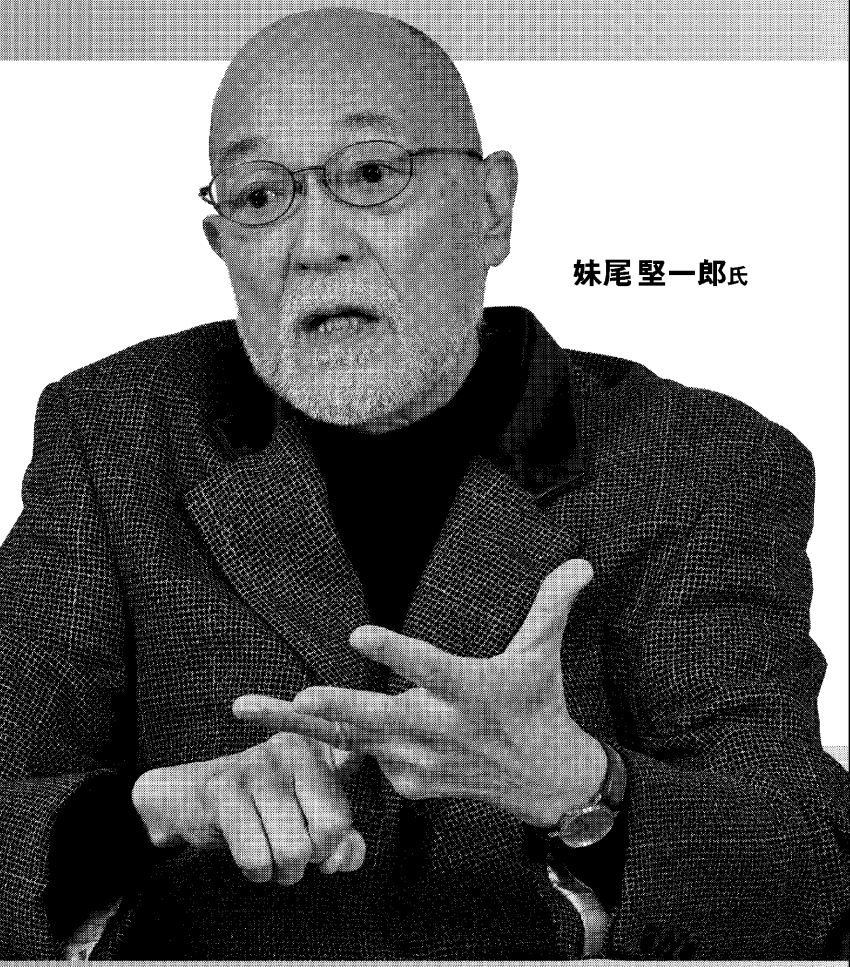
妹尾 理には普遍的な理と相対的な理があります。普遍的な理は、論理的な整合性や経験的な妥当性が認められたら、その仮説は「正しい」という話。他方、相対的な理とは、ある論説に「我々は其鳴る」だからその論は正しいという話で、人々時代によって異なったり変化するものですね。ビジネスの理も、時代や国、企業の大きさや業種・業態によつて異なるので、皆さんには「自分のビジネスはいつのどのどんな理に基づいているのか」を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。

合理的な見地を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。

山下 ビジネスの理を考へる際、経済安全保障も大事な視点です。

ピヴェット 理にすぎなく、経済安全保障などが、経済安全に与える影響をどう描くかが問われていますね。

妹尾 理には普遍的な理と相対的な理があります。普遍的な理は、論理的な整合性や経験的な妥当性が認められたら、その仮説は「正しい」という話。他方、相対的な理とは、ある論説に「我々は其鳴る」だからその論は正しいという話で、人々時代によって異なったり変化するものですね。ビジネスの理も、時代や国、企業の大きさや業種・業態によつて異なるので、皆さんには「自分のビジネスはいつのどのどんな理に基づいているのか」を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。



妹尾 堅一郎氏



ピヴェット 久美子氏

攻めの経営と知財、合理的のビッグピクチャーを描き直す

～思い込みを手放し、新しい明日を拓く～

混迷する今だからこそ、これまでの常道・常識が滲みついた頭(エビデンスが希薄な思い込み、合理性を失った信念)を一度洗い、エビデンスに基づく「全体知を踏まえた時代認識」をもって、新しい経営デザイン(合理的のビッグピクチャー)を描くことが、攻めの経営と知財の第一歩だ。



山下 義昭

NPO法人 産学連携推進機構 理事長 妹尾 堅一郎氏 × PwC Japan 合同会社 ディレクター ピヴェット 久美子氏 × 東京都知的財産総合センター 所長 山下 義昭

山下 そのように大局的な見地に立つには、視野を広げて情報収集することが欠かせません。ただ、中小企業が様々な情報を収集し、解釈・判断するのは、ハードルが高そうですね。

ピヴェット 専門家の皆さんは「知らない情報は知らない情報」の割合は公開情報にあるよね。この点をどう捉えますか。

妹尾 各国の政府発表やシンクタンクのレポートから処理しきれないほどの情報を収集できるの、まず自分たちではアクセスできないところに価値のある情報があるという思い込みは

合理的な見地を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。

山下 ビジネスの理を考へる際、経済安全保障も大事な視点です。

ピヴェット 理にすぎなく、経済安全保障などが、経済安全に与える影響をどう描くかが問われていますね。

妹尾 理には普遍的な理と相対的な理があります。普遍的な理は、論理的な整合性や経験的な妥当性が認められたら、その仮説は「正しい」という話。他方、相対的な理とは、ある論説に「我々は其鳴る」だからその論は正しいという話で、人々時代によって異なったり変化するものですね。ビジネスの理も、時代や国、企業の大きさや業種・業態によつて異なるので、皆さんには「自分のビジネスはいつのどのどんな理に基づいているのか」を自問されることをお勧めします。何より、重要なことは、まづ昭和の理ではなく、令和の理で考えることだと思えます。

というのも日本は、欧米に比べて、いまに廃棄物処理対策の発想が主なんですね。ビジネスでは資源調達を起点にした発想に重点を置くべきではないでしょうか。資源調達を起点にした発想に重点を置くべきではないでしょうか。資源調達を起点にした発想に重点を置くべきではないでしょうか。



攻守 攻めの経営をするために合理的のビッグピクチャーを描き直すこと、そこには知的財産戦略も含まれます。私には創業メーカーで低分子化合物の知財を担当していたこともあり、技術起点でモノづくりを考えがちでした。ただ、これだけではうまくいかないことも多いので、これからは社会課題は何かと

攻めの経営と知財、合理的のビッグピクチャーを描き直す ～思い込みを手放し、新しい明日を拓く～

2025.12.10(水) 14:00～17:00 イイノホール 東京都千代田区 内幸町2-1-1

基調講演

寺島 実郎氏

一般財団法人 日本総合研究所 会長
多摩大学 学長 / 一般社団法人 寺島文庫 代表理事

2026年への展望
世界認識の再構築と日本の針路

基調講演

妹尾 堅一郎氏

NPO法人 産学連携推進機構 理事長

参加費無料

事前登録制

来場参加またはライブ配信視聴

【主催】 東京都 公益財団法人 東京都中小企業振興公社 東京都知的財産総合センター

【後援(予定含む)】 特許庁、関東経済産業局、日本弁理士会関東会、日本弁護士連合会、東京商工会議所、公益社団法人 日本技術士会、一般社団法人 発明推進協会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、東京都立大学法人、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター(順不同)

詳しくは公式Webサイトへ

https://nikkan-prj.com/chizaisympo/

東京都 中小企業 知的財産 シンポジウム